

柏ビレジ自治会便り

2026年 4月号



# 柏ビレジ・ニュース

2026年 4月 1日

柏ビレジ自治会発行

自治会事務局（自治会館）

TEL 04-7132-1925

FAX 04-7132-1965

柏ビレジ自治会ホームページ <https://kashiwa-village.com/>

## 報告 まちづくりの主な実績

住宅環境・自然環境  
美しい  
まちづくり

交通・買い物・飲食  
便利な  
まちづくり

健康・運動・福祉・医療  
健康な  
まちづくり

交流・教育・文化  
楽しい  
まちづくり  
安心な  
まちづくり

まちづくりの核  
自治会運営



●都市再生整備計画にもとづき、水辺の公園のアオコ対策として2023年井戸のポンプを夏場24h、その他のシーズンは8h運転し水が見違えるようにきれいになりました。また木道の手すり増設、有利鉄線一部撤去、ベンチや歩道の修繕等公園のリニューアルと環境維持に努めました。

●40周年記念ベンチ10基を設置しました。

●トイレはニーズ調査により設置しないことになりました。

●コミュニティバスの実証実験は中止となり交通改善は未解決。

●5つの建築協定委員会と協議を重ね、地区計画移行を推進しました。

●高齢学講座をスタートさせ継続中です。

●個別避難計画の方針が概ね確立されました。

●コロナ以降、2022年より役員の負担が少ない持続可能なイベント、柏ビレジオクトーバーフェスト・キッズパークを開催。

●新しい緊急連絡方法としてLINE連絡を導入しました。個々の緊急避難場所の確認シートを作りました。車いすや高齢者を含む水害対策のシミュレーション避難訓練を実施しました。マイタイムラインの講座を実施しました（ホームページに掲載中）。個別避難計画の方針が概ね確立されました。

●防犯対策として、株式会社ジェイコム東関東局と協定締結し、防犯カメラによる個人宅の見守り、まちの見守りを推進しました。

●事務局を強化し、高齢化、IT化が進んでも持続可能な体制を作りました。

●自治会館のWi-Fi及びオンライン会議環境整備、和室を洋室にリフォームして会議室の稼働率アップ、事務局内・1Fホールに防犯カメラ設置による防犯対策、会計ソフトを導入しB/S、P/Lを作成、LINEによる回覧・メニューボタン導入、自動販売機・複合機設置及び会館使用料金を改正し増収、事務局員力量の向上・IT化、役員会の削減、自治会費収納代行サービスの導入、外部委託の促進。



2023年、自治会では初めて「住み続けられるまちづくり」を目標として、「ちばSDGs パートナー」に登録しました。



## 感謝の思いで 新たなスタート

会長 シュピンドラー 千恵子

日頃、自治会活動にご理解ご協力をいただき有難うございます。昨日、過去のビレジニュースやみらいまちづくりニュースを振り返ってみました。

約10年間、先代役員から引き継いで取り組んできた交通課題は、2020年に実施した柏市との共同アンケートの調査結果をもとに進めて参りました。そして2022年、未来まちづくり部に交通タスク委員会を設置しました。アンケートの結果、圧倒的にタクシーよりバスを望む声が多かったので、同11月に1か月のバス実証実験を行いました。この結果と皆様の同意をもとに、交通タスクメンバー17名と様々な協議を重ねて、柏市に3年間の補助金で実走する実証実験運行を申請し、2024年6月30日コミュニティバス出発式を迎えることが出来ました。運行経費の3分の1が補助金、3分の2は受益者(乗車者)で賄うものですが、ニーズ調査結果乗車人数が伸びず、住民の方々や多くの企業協賛を得て何とか1年目を乗り切り、2年目は運営組織を自治会から一般社団法人に、週3便から週1便に減便し、一般社団法人の出資基金を取り崩しながら、運行継続して参りました。とはいえ相変わらず乗車券収入が全く足りないため、柏市と相談の上、断腸の思いで運行を中止させて頂くことになりました。免許返納の機会になった、買物が便利になったと、一定数の皆様にご利用頂いていたので誠に残念でなりません。

現在ご利用頂いていた方々への救済策を考えているところです。運行には様々な規制があり、交通問題解決の難しさを痛感しました。実証実験は2年で終了しましたが、公共交通不便地域に指定されている柏ビレジの「住民の足」がいつか改善できるよう、この経験を糧に他の手段を考えていきたいと思ひます。ご理解ご協力頂き協賛して下さいました皆様に深く感謝申し上げます。



## 人生最期まで住み慣れた “柏ビレジの我が家”で暮らしたい

副会長 森田 幸次

このテーマで介護保険制度・高齢者の健康・生活していくための知識を深めるため、柏北部地域包括支援センターの力を借り、「柏ビレジ老年学講座」を立ち上げ、推進してきました。

2023年に当地区に介護保険制度の「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス」が導入され、「和気あいあい」さんが当地区の事業を行っており、老人ホームに入らず「我が家」で暮らせるようになってます。引き続きこの講座を推進します。



## 水辺の公園「あおこ」の問題について

副会長 野村 芳守

以前水辺の公園の貯水池に「あおこ」が大量に発生したことがあります。そのために先輩諸氏が対策を検討し調査を行い問題解決に尽力されました。柏市役所水道局の協力もあり夏の期間貯水池に24時間地下水を供給し水質維持に努めております。

それにより「あおこ」の発生は認められず水質はいい状況と思われます。昨年は自治会の李環境部長が現状報告を数回水道局へ行いました。今後も水辺の公園が皆様のオアシスとなることを願っております。



## 持続可能な柏ビレジに

副会長 高柳 キミエ

全世代にとって住みやすかつ持続可能なまちづくりを目指すために異なる世代の住民、例えば、まだ子供に手が放せない方、バリバリと仕事をされている方などが、自治会活動に参加出来るように、現在自治会は業務の簡略化、外部委託、ホームページを充実させ、ホームページをみれば、解決策がわかるように改良しています。今年度の柏ビレジオクトーバーフェストも、外部委託により、なるべく自治会役員の手を煩わす事なく無事終了することが出来ました。さらなる改良が進む事を願います。



## 持続可能な自治会の運営

副会長 岡田 小央里

長い自治会活動の中で、初めて副会長として1年間活動に携わりました。様々な部との調整役であり、会長補佐としての活動から改めて感じた事は、年々自治会の運営が困難になっているという事です。住民の高齢化で役員の成り手が居ません。若い住民の方は、昨今の不況も影響して殆どが共働きです。私自身も含めて、仕事をしながら気軽に出来る内容ではなく、住民の自治会への要望は日増しに強くなる印象です。誰がなっても運営が可能な自治会にする事を、改めて住民の皆さまと考えたいと強く感じた1年でした。





ふらっと寄ったら、異空間♪

KASHIWA

OKTOB

20

----- 柏ビレジオクト



今年度で4回目を迎える「オクトー、10月25日(土)・26日(日)の2日間にわし26日(日)は、あいにくの雨模様のため、25日(土)は、柏ビレジ近隣公園のつながりを深め、秋の訪れを多くの目的に賑やかに開催されました。

オクトーバーフェスト2025はYou



## 各部の活動報告



### 2025年度の活動を振り返って

建築緑地協定部長 荒柴 順夫

今期の活動計画として、2022年度から継続的に実施してきた「地区計画移行に向け、ビレジ内の5つの建築協定運営委員会との意見交換会を今期も継続的に実施する」と、及び「住民の皆様へ、地区計画の制度・手続に関し情報提供する」という2点を掲げました。

1点目の建築協定運営委員会との意見交換会については、今期計4回の意見交換会を実施し、自治会が進める地区計画移行について、同じ土俵の上で議論することができました。そして2026年1月に「地区計画移行に関するQ&Aを住民の皆様へ戸別配布」という形で、2点目の住民の皆様へ情報提供するという果実を得ることに繋がりました。

自治会は、建築協定の存在を全否定しているのではありません。建築協定の効力は会員のみに限られており、ビレジ内に存在する約100戸の非会員にはその効力が及びません。このため地区計画という新しい制度でビレジ全域に広く網をかけ、その中でビレジの良質な環境を維持するために、建築協定が規定する良い点は地区計画の中に取り込む計画です。

ビレジ居住者の高齢化は全国平均を上回るペースで進んでいます。ビレジを未来につなげていくために、若い世代にも魅力あるまちづくりをしていかなければなりません。地区計画に関するQ&Aをじっくりとお読みいただき、自治会が進めている地区計画移行をご理解・ご協力いただきたく、再度この紙面を借りてお願いする次第です。



# VILLAGE ERFEST 25 ーフェスト

「バーフェスト2025」を2025年  
に開催する予定でした。しか  
が安全第一を考え、中止となり  
を舞台とし、地域  
の方々と祝うことを

YouTubeでご覧ください ▶



## 各部の活動報告

### 防災用品も避難準備も、計画が大切だと教わる一年でした

防災部長 岩本 真琴



最近の台風は大型で洪水の危険も高まり、地震も頻繁に発生しています。災害の備えは自助・共助が大切です。自助については、自治会ですでにHPで我家の備えについての情報を乗せています。共助として本年度は、水害対策として9月1日防災の日に避難の備えの注意喚起をLINEや回覧で情報共有しました。そして11月23日に防災士荒谷博氏を講師に、柏市防災課の方を来賓にお迎えし、マイタイムライン講演会(私達一人ひとりの個別避難計画)を実施いたしました。

講演の後、活発な質疑応答やマイタイムライン作成を行い大変有意義なものになりました。都合が悪く参加出来なかった方に後日、この有意義な講演を視聴頂けるよう副会長岡田さん、広報部長田中さんの協力を得て動画を作りHPで見る事が出来るようにしました。

トップページの「講演会動画」をクリックするとYouTube動画が出てきます。動画は2部構成で1部は利根川氾濫などの災害にどう備えればよいかを、2部は避難準備をどうすれば良いかなどを荒谷講師にアドバイス頂きマイタイムラインを作りました。ぜひご視聴されるようお勧めします。また有効な災害情報入手手段として「NHK 天気防災」を柏ビレジHPのワンストップ防災ページの中に入れました。防災意識を高めていきたいですね。



大雨災害の基礎知識



マイタイムラインを  
考える

## 各部の活動報告



### 地域の高齢化に伴い 防犯対策をいかに維持するか

防犯部長 旭 壮一

高齢者が支えなければ  
ならない社会において、マンパワーに頼  
る防犯パトロールなどは限界になること  
が予想されます。

当自治会でも住民の入れ替えはあるに  
せよ、初期の購入世代は団塊世代とい  
うこともあり、人生100年時代と世間では  
声高に宣伝していますが、10年後には空き家などは増加し、人材確保さ  
えままならない状況に陥ることはほぼ間違いありません。

そして、これを補完するには、外部組織との連携、テクノロジーを活用  
した自動監視などを軸とした、物理的な負担の少ない防犯体制への移行  
が不可欠でしょう。

テクノロジーの活用として、昨年12月に戸別防犯カメラ設置説明会が  
行われましたが、これらは正に今後の防犯対策への投資と言えるでしょ  
う。更に、センサーライトや見守りアプリ等により、人と機械の目を組み  
合わせることで防犯の底上げが期待できます。また、操作が簡単且  
つ異常時には自動的に通知が届く仕組み等は高齢者の負担や不安も減ら  
せるはずで。他にも日常生活の延長で行える防犯も役立つでしょう。例  
えば、出歩く際に近所の様子を気にする「ながら見守り」や、郵便受けや空  
き家の異変に気づいた際に共有する仕組みを整えることで、負担の少な  
い誰でも参加しやすい防犯活動が可能になるはずで。

また、警察、自治体、福祉関係者、さらには近隣の学校や事業者と情報を  
共有し、防犯と見守りを一体化させた体制を構築することで、地域の孤立  
を避けられることでしょう。

超高齢者社会における防犯対策は、「頑張る」ことではなく「続けられ  
る」ことが大切です。人と人とのつながりに、技術と支援を組み合わせ、年  
齢を重ねても安心して暮らせる防犯体制を維持して行きましょう。

最後に、防犯部の活動を通して数多の方々との接し、勉強させられる部分  
がまだまだあるなど実感させられました。私のような若輩者に対し、ご助  
力いただきました皆様には深く感謝を申し上げます。



### 一年を振り返って

事業・子ども部長 文 真英

夏のイベントサークル主催「ワイワイフェスタ」  
には、例年通り子供に配布するお菓子250セットを  
用意、他、子どもの遊びのブースを出して参加しました。繰り返し使える  
水風船をオタマやスプーンなどで目的地まで運ぶお遊びは、日ごろデジ  
タルなゲームに慣れている子ども達にとっては、大変にアナログで新鮮  
だったようです。

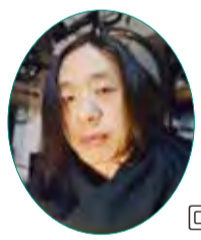
自治会主催のラジオ体操は、7月と8月の夏休みに計4日間、近隣公園・  
芝生広場にて実施されました。今後も 子どもに限らず、広く住民の方が  
参加される事を期待したいです。

10月25日には、今年で4回目の開催となった「柏ビレジ・オクトー  
バーフェスト」。本年より、その運営を一般社団法人未来まちづくりパー  
トナーズに委託。大幅に自治会負担が減り、役員一同、お手伝いとして数  
時間持ち場を担当して頂く形になり、住民負担が軽くなりました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、10月25日は予定通り実施。雨除け  
対策をしたテントの下に集まった子どもたちは、雨の中でも、創造的な  
熱意があふれ、雨に負けずにワークショップを楽しんでいました。翌26  
日は、暴風が夜中の内に近隣公園を直撃し、朝9時の時点で3基のテント  
が大破しました。2025年度を無事故・けが人なしで終わられた事は何  
よりでした。雨対策など、運用上の課題を次の役員に引継ぎます。

冬のイベントサークル主催「ファミリークリスマス」には、お菓子の用  
意に加えて、子どもの遊びのブースを出店して参加しました。ペーパー  
フラワー作りと、未就学児向けにクリスマスツリー作りのコーナーを用  
意。ご近所さんと暖かな幸せを分かち合  
い、子供たちの弾けるような笑顔と共に、  
2025年の活動を締めくくることが出来  
ました。

末筆ながら、事業・子ども部の活動にご  
協力頂いた住民の皆さまに、心より感謝申  
し上げます。



### デジタル化で実現する 「人と人をつなげる」環境づくり

広報部長 田中 誠一

回覧ページにGoogle Driveのフォルダ連携機能を実装  
したことで、事務局でフォルダにファイルを追加するだけでページが自  
動生成される仕組みを構築しました。また、ホームページの全体的な改修  
とLINE連携ページの構築により、これまで電話や窓口対応が中心であ  
った問い合わせをWebフォームへ移行しました。

これにより、時間や場所を問わず24時間いつでも受け付けられる体制  
が整い、利便性向上にも寄与し、施設予約についてもクラウド上での一元  
管理をすることで、予約状況のリアルタイムな把握や重複防止が実現し、  
業務負担の軽減につながったと思います。



### 住民の皆様と育む環境づくり

環境部長 李 勇忠

メインの活動として、ごみゼロ運動を行いました。柏市  
のごみゼロ運動実施日と自治会総会が同日だったため、柏  
ビレジ独自で実施致しました。コロナ禍をはさんで、数年ぶりの実施だ  
ったこともあり、時期、集めるゴミの種類等、試行錯誤ではありましたが、  
各支部長をはじめ皆様のご協力を得て、無事終わることができました。  
皆様からいただいたご意見をふまえて、反省点を今後につなげていく所  
存です。

その他、ゴミ袋の申請、公園ベンチのチェック、住民の皆様から柏ビレ  
ジ環境に関して寄せられた各種の問題点など、都度対処致しました。住民  
の皆様、ビレジ環境に対する意識の高さに改めて感服、環境維持のため  
には、皆様のお力添えが必要不可欠と実感した1年でした。



### 変化の時代の自治会運営

事務局長 岡崎 佳代子

この一年、事務局長として務める中で、自治会を取り巻  
く環境や住民の皆様のご生活様式が、十数年前とは大きく変  
わっていることを実感しました。こうした変化を踏まえつつ持続可能な  
まちづくりを目指すため、従来の良い点は残しながら、必要な見直しを進  
めて参りました。

今年度は自治会LINEのメニューボタン新設など、様々な利便性向上に  
取り組みました。また多くのご相談を頂き、力不足ながらも対応に努めま  
した。至らぬ点もあったかと存じますが、今後も皆様のお力をお借りしな  
がら、住みやすいまちづくりの一助となれば幸いです。

## 「柏ビレジ自治会」 公式LINE

ご登録のお願い!  
ご家族の方の登録も  
大歓迎です!

登録者数  
1,590名!  
※2026年3月現在

公式LINEでは、地域の最新情報や防災のお知らせ、イベント情報など、  
日々の暮らしに役立つ情報をリアルタイムでお届けしています。緊急  
時にも活用されるため、まだご登録がお済みでない方は、この機会に  
ぜひご登録ください。